

一般質問



酒向 弘康 議員

問 児童クラブ入所基準に公平感を

答 就労状況・家庭環境により優先



児童クラブを利用している子どもたち（中央小学校）

待機児の現状と入所基準の明確化、公平な選考、今後の対応を問う。

問 来年度の児童クラブが始まる前後に、役場窓口へ保護者からの問い合わせの内容と、その後のクラブの状況は。

答 **住民こども部長** 高学年でも入れるが、優先順位が不透明など。11月1日現在、14クラブで通年575人、長期361人が利用。待機は通年36人、長期73人。

問 一本当にサービスが必

要な方に利用してもらう」という対応策は。

答 低学年、ひとり親家庭を優先。

問 来年度からのクラブ入所基準と不公平感の改善点は。

答 就労状況・家庭環境により優先順位を決定する点数を周知。父母と20歳以上70歳未満の同居親族に見直し、7月に就労状況の再調査。入所二スに対し、受け入れ定員不足が一番の問題点。今後の受け入れ

見通しと、保護者の「声」を反映するためのクラブの増設計画などは。

答 来年度、豊坂小学校第2児童クラブの改修で定員を10人増やす。児童数の動向に注意し、教育委員会と協議し整備を検討。

問 女性消防士の採用を

答 就職指導で採用の説明

ている要因と、同時に2台・3台と重なる場合の人員確保は。

答 非番招集で対応。非番出勤が急増している要因と近隣との比較。

問 1人で年間60件救急要請もあり近隣に比べ多く、適正利用を呼びかけている。人員体制の不足も原因。

答 女性消防士採用は、女性視点が生かされる。計画は。

問 幸田高校生に消防署でインターンシップを実施。就職指導で採用の説明。

答 救える命を救うAEDのコンビニ店設置状況は。

問 来年度、リース方式で設置を検討。

答 町長公約の「消防本部のテラス化」の施設、人員、人材、仕事の内容と設置にあたっての課題。

問 町長 防災を中心に24時間見守る安全・安心の拠点。事業内容、運営体制を検討。

問 消防活動、救急救命施策の取り組みを問う。

答 消防職員の充足率と、設備、車両などの整備率の現状と近隣との比較。

問 **消防長** 人員は56人で54・4%、消防ポンプ自動車33・3%、他の車両は100%。岡崎・蒲郡市の車両は100%。救急出勤が年々増加し

問 その他の質問 「命を守る」施策の強化を。

答 活動の支援に注力。